

水明会だより

水明園・みよしの

No.141

編集／社会福祉法人水明会 [令和3年4月1日発行]
〒728-0017 広島県三次市南畠敷町441 TEL(0824)62-2841

「沈丁花」

超大吉です!!



大きな獅子舞

獅子舞

特別養護老人ホームみよしの

一月一日の正月レクリエーションで、職員が扮する獅子舞を見られ、その後、今年一年元気に過ごせるようになれるが皆様の頭を噛んでまわりました。皆様ともいい笑顔をされて喜んでおられました。

一月三日には、職員が神主と巫女になり移動式の神社で初詣とおみくじを引かれました。

小吉から超大吉まであり超大吉を引かれた方は「こんなのあるんじゃね、今年もいい年になりそう」と笑顔で話されました。

今年最初の行事で皆様に喜んでいただくことができました。



初詣

今年は、コロナ禍でいつもとは違うお正月となり毎年参拝している出雲大社三良坂分院への初詣は中止となってしまいました。

皆様、楽しみにされている方も多く、せめて、初詣の気分だけでも味わつてもらいたいとの想いから、園内に手作りの鳥居やおみくじ場を設け、そちらに参拝をして頂きました。

デイサービス水明園



水明神社で初詣✿



何が出るかな?



節分

デイサービス水明園

“節分は立春の前日”というルールとの事で、今年は124年ぶりに2月2日が節分となりました。

その為、当日に豆の準備ができておらず…。

ですが、邪氣(コロナ)払いとして、福男・福女の方々に“マスク”を配って頂きました。



私たちの暮らし

養護老人ホーム水明園

テレビを見て
おどっています



やなぎの芽が
出たでえー



雛祭り

特別養護老人ホーム水明園

3月3日、おひな祭りを開催しました。
お内裏様とお姫様、とてもいい笑顔です。



家族
だより

「手 紙」

守山 さゆり

桜の咲く頃となりました。

面会もままならない日々が続いているようですが、母は穏やかに過ごしている。そして、私たち家族も、母の様子を聞いて、いつも安心を頂いています。

面会出来る日を待ちながら、今の母、あの頃の母、あの日の母を思い起しています。

数年前、実家を片付けていると、荷物の中から、母が送ってくれた、沢山の手紙が出てきました。初めて親元を離れて暮らす娘のことを思いながら送った手紙。励ましの言葉や、健康を気遣う言葉で一杯でした。時には、寂しさを滲ませながらも、強がつていていた姿を思わせるものもありました。

あの時の母の思いを、二十歳前後の私は、どう受け止めていたのか。改めて読み直すことで、母の思いがしみじみと伝わってくるようでした。母の温かさ、ぬくもりを感じました。大切な宝物です。

母は、入所した頃に比べると、だんだんと出来ることが少なくなり、多くは職員の皆さん的手を借りています。最近は、上手く言葉を発することも難しくなり、今どんな気持ち

ちでいるのか、自分の人生をどう感じているのか、語ることは出来ません。その代わり、九十年分の出来事を、ゆっくりと、ひとつひとつ思い起しているのではないかと思います。そして優しく温かい介助や言葉がけのおかげで、母の心中は満ち足りており、感謝の気持ちで溢れています。

本当に、ありがとうございます。

オンライン面会のお知らせ

現在、新型コロナウイルス感染症対策の為、水明会でもご利用者様とご家族の皆様の不安を軽減し、少しでも面会の機会を設けられるよう、LINEを利用した面会サービスを実施いたしております。

ご利用を希望の方は、各施設の担当者までお問い合わせください。



「さくら」 水明園・みよしのに咲いたさくらです。今年は、とてもはやく咲きました。

編集後記



四月といえば、学校では入学式がありますが、世界で見ると四月始まりはかなり特殊な文化であることをご存知ですか？世界では秋から始まるのが一般的だそうです。

なぜ日本では四月始まりかというと、明治時代に国の予算の赤字に対するために、当時の大蔵省が、予算を六月締めの七月始まりだったのを、三月締め四月始まりにすることで年の期間を三ヶ月短くし予算を浮かすといったちよつとした小細工をしたそうです。

そういえば、以前、反対に“秋に入学式を変更した方が良いのでは”といつた話が、国会で上がったような気がしますが…。

ですが、始まりが四月になつたおかげで、桜の花の時期温かい日差しが降り注ぐ中で入学式を迎える事ができるようになり、私は本当に良かったと思っています。

(上原 真太郎)